

公表日

2026年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 高坂駅前教室

保護者等数(児童数) 18名

回収数 18件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	0	1	・もう少し広いスペースだと良い。 ・子どもの人数が多い日だと、少し狭い？ ・身体を動かす活動を楽しんでいるように感じます。	人数が多い日は少しスペースが手狭になる可能性がある為、活動内容や個々の活動などで上手くお子様達が伸び伸びと過ごせるよう工夫を行って行く。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	2	先生方にきめ細かく見て頂いていると思います。	職員の人数は基準よりも多めに配置を行い、集団での療育ながら個々のお子様を細かく見るような体制を構築できるよう引き続き対応を行って行く。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	1	2	そう思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	2	0	0	・見学の際、各ドアの施錠もしっかりしており、室内・トイレ等も綺麗だった。	掃除・消毒は朝・夕と毎日行っており、清潔な環境でお子様を受け入れられるよう対応を行っている。季節性・突発的な感染症などにも備えつつ引き続き快適な環境作りを行って行く。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・本人に合わせた支援をして頂いている。 ・フォロー頂きたい部分をしっかりと共有くださっていると思います。	会議や日々の職員同士の話し合いを通して通所されるお子様の情報共有を行い、特性やこだわりに沿った支援ができるよう努めている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1	0	1	そう思います。	毎月のプログラムの配信を引き続き行い、支援内容の開示及びご理解頂けるような動きを心掛けて行く。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0	そう思います。	面談や日々の情報共有を通して、保護者様及びお子様のニーズや課題を的確に捉え、支援計画に落とし込むよう努めている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	1	そう思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1	そう思います。	個々のお子様の特性やこだわり等に合わせた支援内容の構築を心掛けている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	2	そう思います。	毎月のプログラム作成には職員同士の会議の中で話し合いを行い、できるだけプログラムの固定化を避け、お子様が退屈しないよう内容を工夫している。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	2	5	・こぼんの先生が幼稚園の先生とも連携しており、安心感があります。 ・課外活動でそうした経験を得られるとありがたいです。 ありました。	近隣の幼稚園・保育園の先生方とも連携しながら、お子様に最適な支援ができるよう努めている。今後は職員だけでなく、児童同士の交流などができる機会も創出していきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	ありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	0	5	研修会等はわからない。	お子様のご家族に対しても、今後ペアトレを含めた支援や講習などができるよう準備を行って行く。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	2	0	0	ありました。	
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	1	・とても適切なアドバイスをもらっています。 ・お迎え時の申し送りや面談で十分に共有できていると感じます。	定期的な面談やサロンなどを通して保護者様とお話をし、助言や相談などを行う機会を創出している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	1	困っている事や感じている事をすぐ聞いて頂けて、アドバイスも頂けるので助かります。	送迎時や保護者様のお迎えの際に都度ご家庭の様子やお困りごとをヒアリングを行い、保護者様のお悩みや相談に答えられるよう引き続き対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	2	4	・特になくても困っていません。 ・兄弟向けのイベントはない。 ・親同士が話合うサロンで得られる情報に助けられました。ありがとうございます。	定期的なサロンの開催や保護者会などを通して、できるだけ各ご家庭の状況やお悩みを共有できる場を設けるよう努めている。きょうだい向けのイベント等はまだまだ実施した事がない為、今後上記イベントと並行して開催できるよう計画を立てて行く。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	2	・服薬の相談などをした時に対応して頂いて、助かりました。	保護者様からのご相談やお悩みをお伺いした際にはできるだけ早期に担当に繋ぎ対応を仰ぐが、内容によっては関係機関に連携を仰ぐなど、それぞれのご相談にできるだけ迅速に対応できるよう努めている。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	1	送迎の際や、ノートを通じてその都度情報を伝えて頂けるのでありがたいです。	送迎時や連絡帳などを用いて、利用児童の状況だけでなく、保護者様のご意向やご家庭の状況についても把握をできる範囲を広げて対応できるよう配慮を行っている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	1	毎月配信される「こぼんはうす通信」楽しみにしています。活動内容や予定など、とても分かりやすいです。	毎月配信を行っているこぼん通信を中心に情報発信を行っている他、HUGやブログ、SNSをもっと活用して、情報発信の場を広げていこうと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	1	2	子どもからも、訓練をしたと聞いています。	定期的に避難訓練等を行い、毎月のこぼん通信などでも配信を行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	2	そう思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	2	そう思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	1	楽しく通えていると思います。	ケガや事故などを発生させないよう引き続きの注意徹底を行うと同時に、保護者様に安心して頂けるよう何かあれば都度報告を行う対応を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	2	・「今日はこぼんの日！」と楽しみにしています。 ・そう思います。	通所を通してお子様には「楽しい！」と思って帰って頂く事を意識することはもちろん、楽しみながらも成長できるような支援を引き続き心掛けていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	1	・通所しはじめから、苦手な部分も少しずつ成長しているところもあり、とても満足です。 ・とても思います。	引き続き、ご満足頂けるよう、職員一同利用者・保護者様に寄り添った支援を心掛けていく。

公表日

2026 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 高坂駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・研修等を通じて、職員1人1人の支援力の底上げを図っていく。 ・時々、送迎の関係で職員が少なくなることもあるが、プログラム交換等で対応を行っている。	人数はいると思うが、経験のない人が多い。利用人数はもちろん、通所児童の特性や状況を踏まえた上で職員の人数の増減を検討している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	生活空間がコンパクトである為、お子様にもわかりやすい環境作りができています。また絵カードなどを使い、お子様に設備の場所などがわかりやすくなるよう努めている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	掃除・消毒を毎日行い、清潔な環境の中でお子様が過ごせるよう対応を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・児童と1対1で対応したい時に廊下等を利用している。 ・リラックスマームなどを快適に使えるよう整理を行い、上手くスペース活用ができるよう調整していく。	時に放デイ児童などの入室と重なる事があり、児童の気が散る事がある。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価表を基に、会議等を行いできるだけ保護者様のご意見を拾い上げ、支援や教室運営に活かせるよう対応している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎月全体会議を設け、意見交換ができるよう対応している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	研修時間等をパート・アルバイト職員がいる時間で行えるよう調整を行っている。	児発職員はパートが多く、研修を受講するチャンスが少ないように思う。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムは毎月職員の話合いを基に作成し、保護者様へ通達している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	保護者様・関係機関の話や日々の職員の所感などをもとに計画を作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	お子様に一番のウェイトを置き、計画の作成から支援内容、保護者様への対応も行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	カンファレンスなどを通じて職員同士で支援計画の状況や今後の計画について検討を行っている他、児童の日々の状況によって会議を開きながら計画に沿った支援を行うよう心掛けている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	プログラムは毎月職員の話合いを基に作成し、保護者様へ通達している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	日々異なるプログラムを提供できるよう職員同士で話合いを行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別支援計画作成に必要なアセスメントだけでなく、日々保護者様のニーズやお子様のニーズを確認しながら個々や集団に合わせた支援を心掛けている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	時間の関係で打合せができない場合は、書面やパソコン内の日報などを通じて情報共有を行っている。	・行えない時がある為、常ではない。 ・できるときとできない時がある。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	時間の関係で打合せができない場合は、書面やパソコン内の日報などを通じて情報共有を行っている。	・日によってできるときとできない時がある ・できる時とできない時がある ・毎回は勤務時間の都合上、できていない。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	パソコンクラウドなどを用い、個々のお子様の日々の状況を記録し、共有できる仕組みを構築している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	幼稚園・保育所などに見学を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	関係機関には児童のその時々々の状況をなるべく共有するよう努めている	情報共有できる園とできない園がある。また、相互理解を図ろうとしても受け入れてもらえない場合がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	就学が決まったお子様の就学先と情報連携を取り、就学がスムーズにいくよう情報連携に努めている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		児童発達支援センターとはなかなか連携を取れてはいない。今後機会を図って連携を取ってきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		他地域の関係施設との職員同士の交流や情報交換は頻繁に行っているが、児童同士の交流の場はなかなか作れていない。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時にお伝えしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	面談を実施し、保護者様やご家庭内での課題や問題点をヒアリングし、対策と一緒に考えるよう努めている。	情報提供は行いが、研修は行っていない。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約前に必ず説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	定期的な保護者様との面談や個別支援計画の更新アセスメントを通して、お子様にどうなってほしいのかという意思の確認とお子様希望などを確認し、尊重するよう支援を調整している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	必ず支援計画の読み合わせを児発管主導で行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者会や個別面談、サロンなどを設け、適宜相談に乗ったり、助言を行ったりしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会や個別面談、保護者同士のサロンなどを設け、保護者同士での交流の機会を創出している。	きょうだい同士で交流する機会はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	アセスメントシートや定期面談、送迎時などにご利用者の意向をヒアリング等を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月配信のこぼん通信をはじめ、LINE等を活用し配信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の記載のある書面はキャビネット保管を厳守していたり、社内のパソコンは外部へ原則の持ち出し禁止にしていたりと取扱いには気を付けている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	日々の申し送りを通して、お子様の意思をくみ取り保護者様へ共有したりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		地域イベントの参画や交流の場の創出などは現状できていない。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		職員への周知は行っているが、利用者家族への周知は行っていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	研修、訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	薬剤師である管理者のもと、薬の服用管理などを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギー持ちのお子様がいる場合、必ず指示書や対応方法を共有している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		研修訓練や安全計画については最低限のもので留まっている為、今後は役割分担などを行いながら研修の幅や安全計画などの拡充を行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	有事の際の安全確保の方法については保護者様へご説明するよう努めている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	共有ソフトを用い、ヒヤリハットの共有を行うと同時に、朝礼・夕礼で前日・当日のヒヤリハットを確認し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2		研修については現状最低限の内容で留まっている為、今後は更に内容を充実させて、角度高く虐待の防止に繋げていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	研修・訓練等を行っている。	